

第17回 宇和島市立伊達博物館建替委員会 会議録

- 日 時 令和5年1月24日（火） 13:30～15:00
- 場 所 A棟 会議室
- 出席者 [宇和島市立伊達博物館建替委員会委員（順不同、敬称略）]
木村宗慎、廣瀬孝子、二宮信彦、宮本直明、宮部雅輝、
二宮一之、森田松次、牧野勲、三好めぐみ
[事務局]
教育部長
文化・スポーツ課長
伊達博物館（館長、課長補佐、係長）
- 欠席者 有間義恒
- 議 事 (1) 新伊達博物館の維持管理費について（資料1～3）
(2) 新伊達博物館展示構成（案）に係るパブリックコメントについて（資料4～5）
(3) その他

次 第

- 1 開会
- 2 議事
- 3 閉会

■会議の記録

1 開 会

(事務局による司会進行)

- ・ただいまから、第17回建替委員会を開催いたします。

それでは、開会にあたりまして、木村委員長から御挨拶申し上げます。

委員長

(委員長挨拶)

- ・お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。今年も議論、議事を進めていって、より具体的になってきた博物館を、良い博物館が出来ますようにお手伝いを進めていけたらいいなと思っております。是非、活発な御意見をお寄せ下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

- ・ありがとうございました。
- ・本日の出席委員、10名中9名、過半数を超え、会議が成立していることを報告させていただきます。それでは議事に移りますので木村委員長、お願いいたします。

2 議 事

(1) 新伊達博物館の維持管理費について

委員長

- ・それでは、議事に移りたいと思います。まず先に事務局にお尋ねします。前回の建替委員会の終了時には、新伊達博物館展示構成について、ワークショップやパブリックコメントを実施し、多くの皆さんの意見を反映して正式な展示構成とする予定だったと思いますが、今回、議案に「(1) 新伊達博物館の維持管理費について」という案件が上がっています。この件について、どういう要件で、何についての説明を受けるのか含めて、事務局、説明をお願いできますか。

事務局

- ・新伊達博物館の維持管理費につきましては、建設費と維持管理費がどれぐらいかかるのかを問われておりました。現在、

実施設計が固まってまいりましたので、まずは、建替委員会の皆様方に御了解していただくために、今回の議題に上げさせていただきます。なお、維持管理費ですが、現段階での見込みの数字である事を御理解下さい。この後、係の方から詳しく説明をさせていただきます。

委員長

・ありがとうございました。

・では、事務局から資料にそって、御説明をお願いします。

事務局

・それでは、資料にそって御説明させていただきます。「(1) 新伊達博物館の維持管理費について」説明いたします。(資料1)を御覧下さい。新伊達博物館の運営方式につきましては、「多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の削減を図ること」を目的とし、宇和島市においても進めている指定管理者制度の導入を考えております。

・なお「指定管理者制度」とは、公の施設をノウハウのある民間事業者等に管理していただく制度のことで、民間事業者として蓄積した企画・アイデアを生かすことで、住民ニーズに応えやすくなり、従来の自治体にはないサービスを提供することができる制度です。ただ、宇和島市の文化財保護行政にとって学芸部門を手放すことは考えられないこと、学藝分野の安定性を維持しつつ柔軟な事業展開やサービスが期待できる事などから、学芸部門は直営とし、それ以外の部門において指定管理者制度を導入する事が合理的であると考えております。

・次に、「1 すべて直営方式導入の場合」のメリットといたしまして、市の施策を直接反映しやすく、事業継続の安定性を担保しやすい。デメリットといたしまして、行政制度による人

事及び会計により、運営の柔軟性に欠ける場合がある。以上の事から、市の方針を運営に反映させやすいが、柔軟な運営が行いにくい点があります。

・次に、「2 学芸部門を直営とし、その他の部分において指定管理者制度を導入した場合」のメリットといたしまして、学芸分野における公的な責任を安定かつ継続して担保できる。民間ノウハウを活かし、柔軟な事業展開やサービスの提供が期待できる。デメリットといたしまして、直営業務と指定管理者との間で、連携や責任が曖昧になる可能性がある。以上の事から、学芸分野の安定性を維持しつつ、柔軟な事業展開やサービスが期待できます。

・新伊達博物館の役割として（歴史文化の継承・郷土学習・市民交流の促進・エリアの観光拠点化）のためには、住民ニーズに合わせた柔軟なサービス提供、貴重な文化的資料を安全かつ継続して後世につなぐ事が必要と考え、教育委員会としては、学芸部門を直営とし、その他の部分において指定管理者制度を導入した場合が最も適していると考えます。

委員長

・ただ今の事務局の説明に対して、何か御質問ございませんか。

A 委員

・学芸員が市の職員というのはいいのですが、マネジメントをする責任がどちらになるかで、指定管理者が力をもってしまって、学芸員が力を発揮できるなくなるのではと心配です。

・経費削減になっていいと思うし、学芸員は市の職員を残すというのは大賛成。今の博物館は市が運営しているので、大体想像はつくんですけど、指定管理にした場合、どうなっていくのか教えてほしいです。

- 委員長
- ・ A 委員さんの御指摘は、いろんな企画を運用していくうえでのマネジメントを、指定管理者が強くなるのではないかと御心配かと思えます。事務局、御説明よろしいですか。
- 事務局
- ・ 企画展示につきましては、特別展をはじめとして、市の学芸員が従来と同じように展示は継続していくと考えています。
1 階の常設展示、施設の管理等につきましては指定管理者が行っていくと考えています。全体をとおしての企画展示につきましては、市の方が主体となってやっていく事を考えています。
- 委員長
- ・ 指定管理と市の職員である学芸員さんが、うまく連携をとって運営をしていくようお願いできたらと思えます。
- A 委員
- ・ 市の学芸員が、どうしても時間外勤務をしないといけなくなった時に、指定管理者から予算の都合で困るといったような事にはならないでしょうか。
- 事務局
- ・ 業務分野については、指定管理者との仕様書でしっかり取り交わしをいたします。展示内容であったり、運用につきましては指定管理者がやっていきますが、所管としては文化・スポーツ課が上位の所管として持ちます。
 - ・ 学芸員の人件費につきましては、直接、市の方からの支払いになりますので、時間外等については御心配ありません。
 - ・ 指定管理を受けるのも、誰でもいいという事ではなく、博物館・美術館の運営に精通している者を相手先として、仕様書等でリスク管理しながら、お互いに相乗効果で運営ができるように模索していきたいと考えております。
- 委員長
- ・ ありがとうございます。
 - ・ 何か他にないでしょうか。なければ、次の御説明をお願いします。

事務局

・ それでは、(資料2)を御覧下さい。一部(学芸部門以外)に指定管理者制度を導入した場合の、新伊達博物館運営事業費の積算になります。まだ運営が開始されていないので、あくまでも概算経費として御理解下さい。繰り返しになりますが、学芸分野については、現在の学芸員より2名増員を計画しており、学芸部門の充実を図る予定です。その学芸員に館長を含めた人件費3,300万円、その学芸業務に係る事業費(調査研究、展示、教育普及などの経費)、現在の博物館事業費と同程度と想定しており、これが1,000万円、合計で4,300万円を見込んでおります。

・ 指定管理部門については、受付や企画・経理担当等の人件費を3,400万円、事業費につきましては、建物設備維持管理費を5,530万円、事務用品や消耗品費等の事務諸費を380万円、イベント費や宣伝費等の広報・サービス諸費を1,800万円、その他管理費を1,340万円、消費税1,250万円、合計で1億3,700万円を想定しております。なお、この中で建物設備維持管理費につきましては、今後の光熱費などの高騰の影響で、大幅な変動の可能性がございます。

・ 直営と指定管理を合わせまして、1億8,000万円というのが現在のところ考えられる数字でございます。

委員長

・ 現状の予算の内容からすると、広報・宣伝費とかPR、イベント費とか、現博物館では実現しがたい部分が、より手厚くなっているのが十分うかがわれます。現博物館の事業費も教えてくださいませんか。

事務局

・ 現博物館は、人件費を含めまして年間、8,000万円から9,000万円という事業費になっています。約1億円の上昇ですが、面積も現博物館が約1,500㎡、新博物館が4,000㎡

- と 2.6 倍になるので、維持管理費は増えると考えております。
- ・基本構想、基本計画から皆様には御説明してまいりましたが、耐震補強が出来た安心・安全な施設で文化財、宇和島の宝物を守る。次世代に繋げていくという使命、観光拠点として交流人口も増やし、宇和島市の経済効果にも寄与する。そういった施設であると考えます。委員の皆さんも、いろんな感想があらうかと思いますが、今現在これぐらいの事業費がかかるのではないかとお示しするものです。
- 委員長
- ・受け止め方として、施設の規模も倍以上になって、関わる人の数が増えて、市としては戦略的に、ここに予算を付けて、より活発な市の顔の一つになるような施設として運用していくっていう意味での予算なんだなって印象を受けました。
 - ・是非、前向きに受け止めて差し上げたいと考えます。
- 事務局
- ・1億8千万円の指定管理費ですが、同規模の博物館、美術館と比べると、費用は同じくらいかかっているもので、決して、ものすごく高いものではないと御理解下さい。
 - ・今までにない機能のショップ、カフェが新たに出来る。建物が大きくなる。展示だけをするのではなく、各種イベントも企画立案する事も含んでいます。
- 委員長
- ・広報・サービス諸費として、1,800万円計上されているとか、いろんな意味で前向きな内容になっていると思います。
- B委員
- ・指定管理の中に、カフェがないのですが。
- 事務局
- ・カフェの運営は、広報・サービス諸費になると思います。摘要欄に追記いたします。
- C委員
- ・指定管理の部分で必ずカフェをやって下さい。と決めていても、カフェの売り上げが落ちて、変更が出てきたり、いろい

- ろ意見が出てきてしまうのではないかと心配です。仕組みの部分が必要になるんじゃないかと思います。
- 事務局
- ・本日、提示した数字で申し上げますと、指定管理料が1億3,700万円に近い数字で指定管理者と契約する事になったら、条件を付けて契約をします。経営については協議をして決めていくことになると思いますが、問題が起こらないような仕組み作りは進めて参ります。
- A委員
- ・憩いの場所の博物館になればいいなと思っています。カフェに自動販売機を置いてもらっただけでもいいと思います。売り上げは指定管理が取るのか、市が取るのか、利益が出るようにしたらいいのではないのでしょうか。
- 事務局
- ・かかる費用だけ説明をしていますので、入館料をはじめとした歳入につきましては、指定管理に出すまでには決めます。
- 委員長
- ・ありがとうございました。他に何か御質問ございませんか。問題なければ、御了承、御理解いただいたということでよろしいでしょうか。
- 事務局
- ・では、改築事業費の概算について、御説明をお願いします。
 - ・それでは、(資料3)を御覧下さい。令和4年6月時点の基本設計時の概算費と、令和5年1月時点での実施設計の途中ですが、概算費の変動につきまして御説明いたします。基本設計時に、事業費を45億円と御説明しておりましたが、実施設計における現段階での概算費が48億円になっております。増加しました主な内容は、建築工事費が建設費指数の上昇により約1億円の増額、展示制作業務費が新規展示ケース台数の変更、メザニン(建築工事区分)から積層棚(展示制作業務区分)への変更等により約2億円の増額となっております。下に表記しております財源内訳を御覧下さい。事業費の増加

	に伴いまして、宇和島市の実質的な負担金は 9.3 億円から 10.3 億円となり、1 億円の増となっております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・この件につきまして、この間の資材高騰とか、伸び率が大きい割には、随分努力をされています。 ・事務局からの御説明、いかがでしょうか。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的に、いつ決定するのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・予定より慎重に進めております。設計の段階で積算が積み上がりますので、その時に改めて皆様方にも議会にも御説明をしようと思っております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・御説明ありがとうございました。 ・この件については理解したという事でよろしいでしょうか。

(2) 新伊達博物館展示構成（案）に係るパブリックコメントについて

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・では、議事の 2 番目、新伊達博物館展示構成（案）に係るパブリックコメントについて、事務局から説明を願います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、新伊達博物館展示構成（案）に係るパブリックコメントについて説明いたします。（資料 4）を御覧下さい。令和 4 年 1 1 月 2 8 日から 1 2 月 2 3 日までパブリックコメントを募集をし、広報うわじま折り込みチラシ、宇和島市ホームページにて周知いたしました。募集期間に 3 人の方から 6 件の御意見が寄せられました。回答内容につきまして、委員の皆様から内容に問題等ないようでしたら御承認いただき、宇和島市ホームページにおいて公開させていただきます。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今の、新伊達博物館展示構成（案）に係るパブリックコメントの回答につきまして、御賛同いただけますでしょうか。
一同	<ul style="list-style-type: none"> ・（全員賛成）

- 委員長
- ・では、全員賛成ということで。
- 事務局
- ・事務局、他に何かありますか。
- 委員長
- ・（資料5）を御覧下さい。新伊達博物館展示構成（案）です。パブリックコメントでお示ししていたように、委員の皆様から問題がないようでしたら、新伊達博物館展示構成とすることを、建替委員会におきまして御承認をよろしく願います。
- 委員長
- ・ただ今の、新伊達博物館展示構成（案）につきまして、何か御意見はございませんか。
 - ・御意見がないようでしたら、建替委員会として新伊達博物館展示構成とする事に御賛同いただけますでしょうか。
- 一同
- ・（全員賛成）
- 委員長
- ・では、全員賛成ということで。
 - ・ありがとうございました。
 - ・では、議事（3）その他に移ります。全体を通して御意見はございませんか。
 - ・ワークショップの御報告をいただけてないので、願えますか。
- 事務局
- ・11月23日（水）に中央公民館で隈研吾建築都市設計事務所及び丹青社が合同でワークショップを開催しました。39歳以下の世代を中心に、30名を募集し、当日体調不良等で2名減り、28名の方が来ていただきました。グループごとに分かれて、いろいろな意見を出していただけて集約しております。
 - ・詳細の資料がまとまりましたら、委員の皆様へ送付させていただきます。御理解、御協力をお願いします。
- 委員長
- ・では、他に何かございませんか。

- ・御意見ございませんでしたら本日の委員会は、以上で閉会といたします。
- ・ありがとうございました。